

衆議院国土交通委員会ニュース

【第203回国会】令和2年11月20日（金）、第3回の委員会が開かれました。

- 1 交通政策基本法及び強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法の一部を改正する法律案起草の件
- ・盛山正仁君外3名（自民、立民、公明、維新）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者盛山正仁君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・岡本充功君（立民）、高橋千鶴子君（共産）及び古川元久君（国民）から提出者盛山正仁君（自民）及び小宮山泰子君（立民）並びに政府参考人に対し発言がありました。
 - ・採決を行った結果、賛成多数をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
- （賛成－自民、立民、公明、維新、国民 反対－共産）

（発言者及び主な発言内容）

岡本充功君（立民）

- （1） 起草案第20条の「基幹的な高速交通網」に含まれる地域
- （2） 名古屋市営地下鉄桜通線の延伸についての協議の現状及び複数の地方公共団体にまたがる鉄道プロジェクトの推進に当たり、国土交通省が関係者間を仲介し協議又は評価を進めるための取組方針
- （3） 木曾川河口部の計画の堤防高が不足している区間における水位上昇等の緊急対応として、国道1号線を止めて大型土のうを積むこととしているが、設置に4時間を要する現状を踏まえ、国道1号線を止めるタイミングや実施手順等を事前に定め周知する必要性

高橋千鶴子君（共産）

- （1） 起草案に交通権、移動の権利の保障を明記する必要性
- （2） 起草案第16条の「国民の交通に対する需要の多様化」の具体的内容
- （3） 起草案第20条の「基幹的な高速交通網」の具体的内容
- （4） 高速交通網の形成に当たっては、事業の必要性や工事の進め方について計画段階や工事段階において住民等関係者との合意形成に努める必要性

古川元久君（国民）

- （1） 公共交通事業と独立採算原則の齟齬が明らかになっている中で、公共交通に関する施策の実施に当たり必要となる財源の安定的な確保の必要性
- （2） コロナ禍による社会変容を踏まえた公共交通の安全、安心の確保の支援に当たり、科学的見地に基づく公共交通の安心感の醸成に向け、事業者と連携した取組を推進するとともに、広く社会に発信していく必要性
- （3） 事業基盤の強化と人材の確保、育成が表裏一体なものであることを踏まえ、公共交通事業者の労働条件改善に向けた支援施策についての認識

2 交通政策及び国土強靱化に関する件

- ・平口洋君外5名（自民、立民、公明、共産、維新、国民）から提出された交通政策及び国土強靱化に関する件の決議案について、提出者城井崇君（立民）から趣旨説明を聴取しました。

- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
(賛成－自民、立民、公明、共産、維新、国民)
- ・赤羽国土交通大臣から発言がありました。